



にかほ 議会だより

8.1 2022
vol.72



6月24日 仁賀保高校 全校鳥海登山

5月臨時会・6月定例会

対談企画	聞きたい！若者の声！……………	2～3
臨時会・定例会概要		
審議概要と議会の視点……………		4～8
議案・賛否一覧……………		9
一般質問……………		10～11
編集後記ほか……………		12





聞きたい！若者の声！

若者が議会に抱く印象や期待することなど、若い世代の声を聞こうと、議長・副議長と市民との対談を実施しました。お相手は、市の「若者100人会議」のメンバーでもある秋田マテリアル(株)代表取締役社長の佐藤佑介さん(上郷地区出身)と元地域おこし協力隊で現在鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会研究員の國重咲季さん(京都府出身)です。

議会のイメージは？

國重咲季さん
議会は自分たちとは違う世界、介入できない所、というイメージが強いです。

佐藤佑介さん

市へ事業に関する相談をした際、議会の審議にかけられる時間が必要と言われたことがあって、結論が出るまで時間がかかると思ったことがあります。

議会中継や議会だよりを見たことは？

國重 議会中継は自発的に見ようとすることはなかったかも。議会に興味を持ってもらうには、議員と直接コミュニケーションをとれる場があるといいと思います。地域の壁を越えて、広い接点を持つことも大事だと思います。

審議のスピードアップを(佐藤)

佐藤 民間企業はスピードを重視するんですね。何かしたいと思った際、議会に提案するために市の準備時間を考えると、生産性があるのかなと思ってしまう。もう少し結論が早く出てほしいです。

市民が関われる議会に(國重)

國重 遊佐町の「少年議会」のように、子どもたちに議員と同じ議論・投票をしてもらうようなアプローチをしてみるのいいと思います。市民も子どもの考えが気になるし、そこから政治に興味を持つと聞いたこともあって。



副議長 遊佐町の少年議会は20年以上の歴史があって、そのせいか投票率が極めて高いんですよ。
議長 以前開催した中高生とのワークショップもいろんな意見を聞いて良かった。
國重 裁判員裁判制度のように、無作為に選んだ一般市民が議会に参加できるようなことはできないでしょうか。

議長 市民が直接意見を言えるのは良いことだと思います。

若者100人会議での懸案事項やご自身で考えていることなど、議会に提案したいことはありますか？

佐藤 モンベルの出店計画もあり、市がアウトドアに力を入れていく方針だと思います。市の公園を民間で借りて、ドローンの飛行とキャンプ場の運営を一緒にできる場があればいいと考えているところです。

議長 市内にはキャンプ場に適した公園があるし、今定例会にも、アウトドア計画に関連する議案が出ました。既に計画に沿って動き

出しているが、民間で事業化できれば一番良いですね。

國重 今の課題は、空き家の賃賃がなぜ進まないかですね。市内の空き家が賃貸として活用できればもっと良くなるのと思います。「貸す」ことに抵抗があるんだと思います。

議長 市でも売買の仲介はしていますが、賃貸も中間に入る人(機関)があれば違うんでしょう。

佐藤 市のHPにリサイクル率の目標値が約15%とありました。持続可能な社会をつくるためにも、「ごみ」への意識を変えていきたいですね。このままだと、「魅力のあるまちづくり」との整合性が取れなくなってくると思います。

副議長 市外の人に、にかほ市は分別の種類が少ないと言われたこともあり、今後検討してみる必要がある課題の一つですね。

各方面に話かはずみ、対談は予定の時間を超過するものとなりました。

お一方には議会へのご意見を多数いただいたいております。



竹嶋潟周辺の にぎわい創出へ

～スケートボードパーク整備・カヌー艇庫改修～

市議会は5月臨時会（5月18日）、6月定例会（6月7日～6月20日）に招集されました。

5月臨時会では、議長・副議長の選挙、各常任委員会などの委員構成の決定、専決処分などの報告3件、新産業支援センター条例などの条例改正3件、補正予算5件を含む議案8件が上程されました。

6月定例会では、繰越明許費の報告1件、令和4年度各会計補正予算4件、条例改正2件、教育委員と監査委員の人事案件2件を含む議案11件、陳情4件、議提3件が上程されました。

5月臨時会 （令和4年第3回臨時会）

●『子ども家庭総合支援拠点』整備へ向けて関連条例改正

【概要】 本年10月、スマイル内に「児童家庭支援センター（県）」「子ども家庭総合支援拠点（市）」が設置される。これに伴い、市社会福祉協議会仁賀保支所が仁賀保新産業支援センターに移転する必要があるので、関連する条例を改正。

改修後、現在仁賀保庁舎にある子育て支援課はスマイル内へ移転する。

※関連予算↓P6注目事業⑤

●竹嶋潟艇庫整備、周辺地域の開発計画策定 495万円

【概要】 艇庫改修や新たにテントサイトの整備などを盛り込んだ竹嶋潟周辺の整備構想を作成するための業務委託費用。



6月定例会 （令和4年第4回定例会）

注目事業の審議・審査 新たなにぎわいを創出へ

①スケートボード施設整備

概要 竹嶋潟自由広場（駐車場）に整備するスケートボードパークの設計、施工などの委託料。
3,770万円

Q転倒事故などの際、責任の所在は。

A原則は自己責任と考える。施設運用のルールは、利用者など今後検討する。

Qこれまでのまちづくり計画との整合性は。

A自由広場は駐車場として整備したが、艇庫改修やスケートボードパークの整備により新しいにぎわいの場となると想定。計画との方向性は同じと判断する。

議会の視点

②サイクルツーリズム事業 1,018万円

概要 自転車観光推進のため、レンタサイクルの拡充やサイクリングコースの選定、モニターツアー催行などの委託料。

5月臨時会・6月定例会では、スケートボードパーク整備や艇庫改修、サイクルツーリズムの推進など、竹嶋潟周辺の開発に関わる事業計画が提案された。また、拠点整備に先んじて、グランドデザインに沿った具体的な事業が立ち上がっている。既存施設の事業との相乗効果により、市の「新たな観光スポット」となることを期待する。

③若者支援住宅整備関連 PFIアドバイザリー業務委託料 2,200万円

概要 法務、財政などの専門家から要求水準書の作成と事業契約締結の助言を受け、PFI（官民連携事業）事業の精度を高めるためのアドバイザリー委託料。

Q事業者選定までの日程は。

A議決後すぐに公募し、7月中旬に契約締結、要求水準書の作成にとりかかりたい。

Q選定までの期間が短すぎないか。

Aタイトなスケジュールだが、早期に契約締結できるように進めていく。

議会の視点

PFIの実施には金融・法務・技術などの専門知識やノウハウを必要とする。民間の同種事業や事業経営、資金調達に精通したアドバイザーへの業務委託は、若者支援住宅整備事業には有効と判断できる。

適切なマネジメント方針に基づいた、円滑な事業管理が重要となる。

④白幡森周辺エリア基本構想・検討委員会報償費 38万円

概要 若者支援住宅の整備を含めた白幡森周辺エリア一体の基本構想に、市民の意見を反映するために設置する構想検討委員会の委員報償費。

Q委員構成の想定と設置の目的は。

A産・学・官・民から市が選定した方へ就任を依頼する。この構想は都市計画法などに基づく上位構想となるため、ゾーニングの検討などに地元事業者や子育て世帯からの意見を聞き反映させたい。

議会の視点

都市計画変更や農振地域解除などの手続きを含め、民間事業者が開発しやすい環境を整えるための「基本構想」が策定される。

若者を核とした「まちづくり」のスタートとなる基本構想であり、今後の展開に議会も注視する。

予算の審議・審査



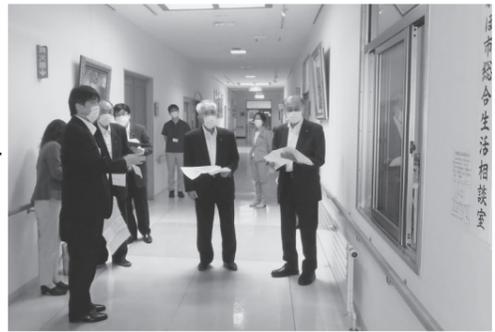
予算の審議・審査

⑤ 子ども家庭総合支援拠点 総合福祉交流センター改修

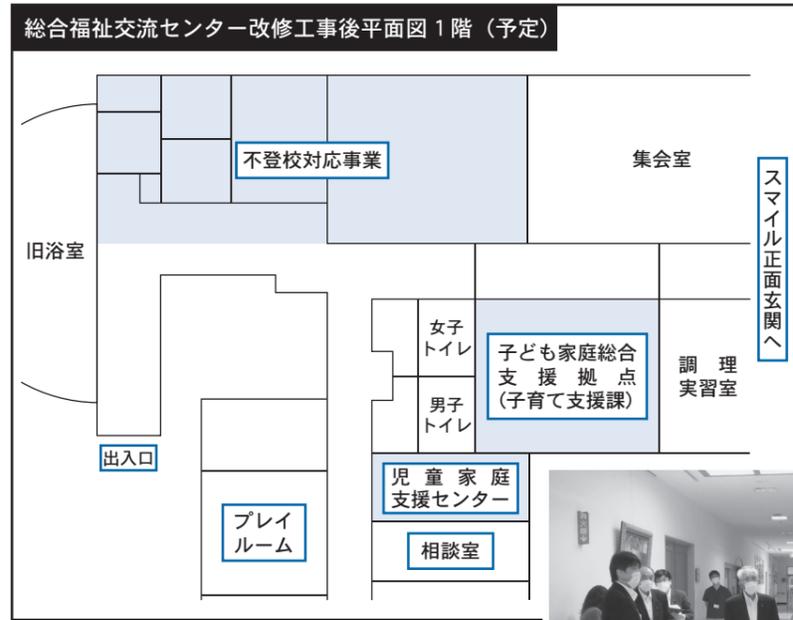
概要 子ども家庭総合支援拠点開設のため行う、スマイルの施設改修工事など。改修後は、子育て支援課が移転し、県が設置する「児童家庭支援センター」との連携や市民との相談業務を強化する。

概要 子ども家庭総合支援拠点開設のため行う、スマイルの施設改修工事など。改修後は、子育て支援課が移転し、県が設置する「児童家庭支援センター」との連携や市民との相談業務を強化する。

Q 学校との連携・協議は出来ているのか。
A 市内全校（高校を含む）に学期中に1回は訪問。保育所へは頻りに巡回し、意見交換を実施。



教育民生常任委員会現場踏査(スマイル改修)



総合福祉交流センター改修工事後平面図1階(予定)

Q これからの業務体制は。
A 子ども家庭支援班3人、家庭児童相談員、母子・父子自立支援員各1人、10月から委託2人を配置し7人体制の予定。

Q 支援体制は強化されるのか。
A 相談に来ることができない人、困っている人に気づき、手が届く支援をするのが児童家庭支援センター・子ども家庭総合支援拠点。不登校対応も含め、これまで以上の対応を重点的に行う。

議会の視点

本市は、国の政策に先駆ける形で「子ども家庭総合支援拠点」を設置・開設する。安心して子どもを生み育てる環境整備の充実、何にも代えがたい施策ではないか。

来月4月には、子ども家庭庁が創設される。子ども関連予算の倍増に、大いに期待をしたい。しかし、予算だけでは解決できない多くの課題や問題はある。「子どもを地域社会で育てる心」を忘れてはならない。

⑥ 4回目のワクチン接種へ 新型コロナウイルスワクチン接種事業2,417万円

概要 新型コロナウイルスワクチン4回目接種の経費。医師、看護師の報酬や委託料など。

Q 今後の接種の実施方法は。
A 集団接種と医療機関での接種を実施する。

Q 接種対象者と通知方法は。
A 3回目接種から5カ月を経過した60歳以上の方と基礎疾患の申請をした18歳以上59歳以下の方へ接種券を郵送。

議会の視点

新規感染者の減少により感染が収束した感があったが、新たな変異株による再拡大の兆しが見られる。

終着点の見えない事業ではあるが、市民のワクチン接種がスムーズに進むよう、着実な事業執行を求める。

予算の審議・審査

⑦ TDK硬式野球部・都市対抗野球大会関連

概要 3年連続17回目の出場となったTDK硬式野球部への激励金と市内でのパブリックビューイング実施の経費など。

Q 応援列車、応援バスなどの実施は。
A 市応援ツアーなど、積極的に首都圏への移動を促すことは、時期尚早であるため実施しない。

Q 激励金の上乗せの検討は。
A 由利本荘市との申し合わせがあり、今回はそれを踏襲したが、今後検討したい。

議会の視点

都市対抗野球は、日本アマチュア野球最高峰の大会。チーム名に市名、ユニフォーム右袖に市章を貼付し、自治体名を全国にアピールできるのも大会の魅力の一つ。

TDK野球部は地域と密着したチームで「にかほ市」の名を全国に発信する重要な機会だ。市のイメージアップにも期待する。

⑧ 池田修三展スタンプラリー実施へ

概要 秋田駅・秋田空港・象潟郷土資料館・にかほつとの4会場で開催する池田修三展で追加実施するスタンプラリーの開催費用。

Q これまでの取り組みとの相違点は。
A これまでの観光振興の取り組みと変わるものはない。本事業により、池田修三作品の更なる知名度向上と本市への誘客促進の強化を図る。

Q 対象者とその車種は。
A 市内に本社・本店を置く事業者の運輸・交通業者（代行業含む）の営業車（緑ナンバー・黒ナンバー）。

Q 県の支援基準単価を採用した理由は。
A 県と制度内容を揃えることで、申請の際の事業者の負担軽減を図った。



秋田空港での展示の一部

新型コロナウイルス 感染症対策事業

⑨ 運送事業者へ燃料費を支援 1,021万円

概要 燃料価格高騰の影響を受ける市内運送事業者を対象に、負担軽減と事業継続を図るための支援金。

Q 対象者とその車種は。
A 市内に本社・本店を置く事業者の運輸・交通業者（代行業含む）の営業車（緑ナンバー・黒ナンバー）。

Q 県の支援基準単価を採用した理由は。
A 県と制度内容を揃えることで、申請の際の事業者の負担軽減を図った。

⑩ 好評のため追加補正へ 「おでかけレストラン」・「おうちでレストラン」事業 2,944万円

概要 6月末の事業期間終了前に上限額に達する見込みにより、事業を継続するための補正。増額により、域内経済対策の強化を図った。

議会の視点

世界的な燃料費高騰が、市民生活に影響を及ぼしている。支援を求める市民（事業者）へ、早急に対応する姿勢は評価できるものと考えられる。

今回3回目となる飲食業支援事業。増額補正後は6,880万円の商品券が還元される。使用期限内に商品券が全額使用された場合、総額約1億3,000万円以上が還流する。経済対策として非常に効果的な事業だが、アフターコロナを見据えた対策も講じる時期に来ているのではないかと。

有効期限内に使いましょう！



議案・賛否一覧

総務…総務常任委員会、教民…教育民生常任委員会、産建…産業建設常任委員会
 決算特別…一般会計決算特別委員会、予算特別…一般会計予算特別委員会
 ○は賛成 ●は反対(※議長は表決しない)
 簡易表決とは、可決に「異議がない」ことを会議に諮る簡易な方法のこと。

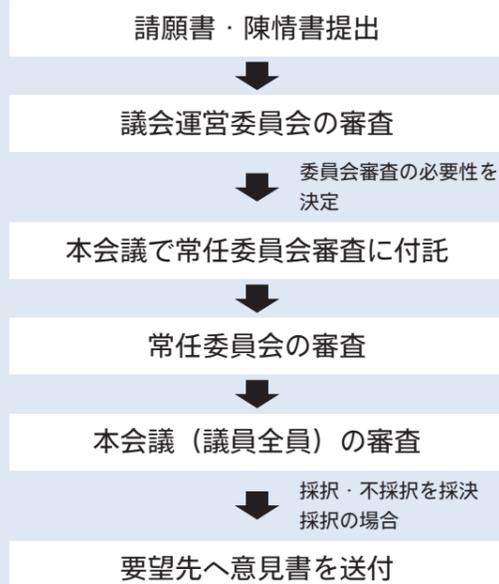
番号	件名	結果	議席番号																託 付 委 員 会	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
			高橋利枝	齋藤光春	佐々木正勝	宮崎信一※	齋藤雄史	齋藤聡	菊地衛	齋藤進	佐々木平嗣	小川正文	佐々木孝二	佐藤直哉	佐々木春男	佐々木敏春	森鉄也	伊藤竹文		
6月定例会（6月7日～6月20日）																				
報 告																				
4	繰越明許費の報告	-																		
議 案																				
49	教育委員会委員の任命	同意	賛成13票、反対2票																-	
50	監査委員の選任	同意	賛成10票、反対4票																-	
51	にかほ市で顕彰を授与すること	可決	○	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
52	にかほ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	可決	簡易表決																教民	
53	にかほ市総合福祉交流センター条例の一部を改正する条例制定	可決	簡易表決																教民	
54	字の区域の変更	可決	簡易表決																産建	
55	令和4年度にかほ市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	令和4年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定補正予算（第1号）	可決	簡易表決																教民	
57	物品の取得	可決	簡易表決																総務	
58	令和4年度にかほ市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	令和4年度にかほ市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願・陳情																				
陳3	女性トイレの維持及びその安心安全の確保について	趣旨採択	簡易表決																教民	
陳4	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
陳5	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情	採択	簡易表決																教民	
陳6	国立病院の機能強化を求める陳情書	採択	簡易表決																教民	
議提など																				
6	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	国立病院の機能強化を求める意見書	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	議会運営委員会及び議会広報公聴委員会の調査等に関する決議	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会メモ

請願と陳情って??

国民が国または地方公共団体などの所管事務などに対し、一定の希望を申し出ること。
 請願を提出する場合には、議員の紹介が必要。

請願書・陳情書はどう審査するの？



議提・陳情

●議提第6号 採択
教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書(陳情第5号)
 審査概要 教育環境の改善とコロナ対策などの学習指導業務以外の教員の負担軽減を求めるもの。学級の少人数化と教員の増員を継続して求める必要性から採択と決した。

●議提第7号 採択
国立病院の機能強化を求める意見書(陳情第6号)
 審査概要 医療機器の整備や財源の確保、職員の増員などを求める

●議提第8号 採択
議会運営委員会及び広報広聴委員会の調査等に関する決議
 概要 令和8年4月30日までの議会閉会中に二委員会の活動を許可するもの。

●陳情第3号 趣旨採択※
女性トイレの維持及びその安心安全の確保
 審査概要 不特定多数が使用するトイレで、女性トイレの維持

●陳情第4号 不採択
国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情
 審査概要 「海の日」制定趣旨から、当初制定された7月20日に固定化を求めるもの。賛成者がなく不採択とした。

※趣旨採択：願っていることの内容や内容は理解できるが、実現性の面で確信が持てない場合に「趣旨には賛成する」として採られる決定方法

全国市議会議長会表彰



●議員勤続25年以上
 菊地 衛 議員



●副議長4年以上
 小川 正文 議員



●議長4年以上
 佐藤 元 前議長

長年の市議会議員活動に対し表彰されました



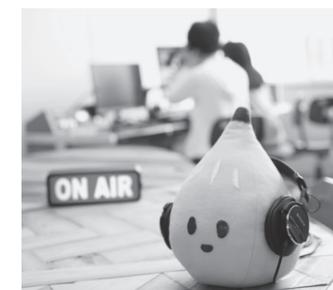
録画配信

6月定例会では3人が登壇しました。本会議の様子は議会ホームページからオンデマンド（録画）でご覧いただけます。

一般質問

…議員が定例会に行う行政事務全般についての質問

さいとう さとし 議員	1. シティプロモーションにおける移住施策の位置付けについて 2. 空き家対策について 3. 子どものための公園整備に関連して	P. 10
さいとう みつはる 議員	1. 勢至公園及び竹嶋瀉周辺の整備について 2. 旧上郷小学校の利活用について	P. 11
ささきはるお 佐々木春男 議員	1. 食料品価格の上昇に伴う学校給食の運営と給食費補助の考えは 2. 消費税のインボイス（適格請求書）制度は中止すべき 3. 秋田県知事が述べた、「核兵器保有も含め、真剣な防衛政策のあり方の議論」について	P. 11



今後のシティプロモーションの展開は

市長 本市の情報発信力をさらに高める



録画配信



齋藤 聡 議員

市長 シティプロモーションにおける移住施策の位置付けは、子ども伴奏プロジェクトのPR事業は今年度で最終年度を迎える。コロナ禍の過去2年の状況を踏まえ、今後の事業展開は、

市長 既に市の事業で3棟を借り上げ、2棟を移住者へ貸し出ししている。空き家の利活用を加速させるためには、行政のみならず、地元自治会など、地域と行政が両輪となって課題解決に取り組む必要がある。

子どもは地域活力のバロメーター
問 子どもの発育の為に公園整備と遊具の充実を求める。

市長 遊具の整備は、地域の特性や周辺の公園等を見極めながら、改修や交換を行っていく必要があると考える。一方、自治会による公園整備に対しては、補助制度がある。物件により限度額はあるが、子どもたちの健やかな成長を共に見守るため、地域力の一つとして、身近な公園の充実には是非補助制度を活用していただきたい。

問 空き家対策と移住対策をコラボしては、公示地価や固定資産税が低いうちに市が移住者用に空き家を借り上げ、空き家対策の一助とすべき。

給食費補助、無償化は
問 世情、天候不良、燃料費高騰による輸送コスト上昇など、食品価格高騰の学校給食への影響は、給食費無償化の考えは。

教育長 栄養教諭が、栄養価を維持しながら、低価格食材の有効活用などで工夫し、質を落とさず提供できている。現在、学校給食費の値上げは考えていない。
給食費の無償化については、国が責任を持って進めるべきで、給食費への助成・無償化の考えはない。

インボイス※は止めるべき
問 インボイス制度により、年間売上が数十万円程度であっても消費税の支払い義務が生じる。シルバー人材センターなど、多岐にわたる業種の経営が困難になる。インボイス制度はやめるべき。

市長 今、世界で起きてくる核兵器への大きな脅威と不安を憂いているところである。非核平和都市を宣言しているにかほ市として、核のない平和な世界をこれからも強く望んでまいりたい。

皆さんにできるだけ負担がかからないよう、制度の理解と周知について税務署などと連携を図りたい。
※インボイス制度
令和5年10月から始まる消費税の仕入税額控除を受けるための制度

知事の「核保有含めた議論」について市長の見解は
問 佐竹秋田県知事は、「核兵器保有も含め真剣な防衛政策のあり方の議論を始めてもらいたい」「日本人を平和ボケ状態にした憲法9条はいますぐにでも改正すべき」と述べた。この佐竹発言を市長はどう感じているか。

勢至公園の具体的なアオコ対策は

市長 湖底泥の除去効果を検証しながら進める



録画配信



齋藤 光春 議員

勢至公園のアオコ対策
問 勢至公園と竹嶋瀉周辺の景観改善、アオコ対策の具体策は。
市長 さまざまな検証や実験を行ったが、改善に至っていない。湖底の泥の除去など、効果を検証しながら進めていく段階にある。

農林水産部長 今年度も小さい潟の泥の除去を予定。池の水を抜くことも改めて検討したい。
竹嶋瀉周辺整備計画
問 竹嶋瀉周辺の今後の整備計画は。
市長 白瀬記念館による教育文化発信とともに、TDKのスポーツ施設も併せ、本市を代表するスポーツエリアとして充実を図る。

白瀬記念館に隣接する高台を買戻し、整備する考えはないか。
市長 そのような考えはありません。

旧上郷小学校の状況は
問 旧上郷小学校の利活用事業費総額は、3年間で1億3千万円を超える。現在の施設の管理などの委託状況は。
市長 現在、施設は業者委託ではなく市が管理。改修工事中のため安全面を考慮し一般開放していない。稼働していない状況。ソフト事業では施設への愛着をなくくむ活動と情報発信を行っている。ラジオ配信は好評を得ている。

費用対効果の評価と今後の事業の見通しは。
市長 本事業は国の地方創生推進交付金を活用した3カ年計画の事業で本年度が最終年度。来年度からの運営開始によって評価測定をする。本格運用に向け、地域の協力を得ながら運営するスタイルの構築を図る。

給食費の補助・無償化の考えはないか

教育長 いまのところ考えていない



録画配信



佐々木春男 議員

給食費補助、無償化は
問 世情、天候不良、燃料費高騰による輸送コスト上昇など、食品価格高騰の学校給食への影響は、給食費無償化の考えは。

教育長 栄養教諭が、栄養価を維持しながら、低価格食材の有効活用などで工夫し、質を落とさず提供できている。現在、学校給食費の値上げは考えていない。
給食費の無償化については、国が責任を持って進めるべきで、給食費への助成・無償化の考えはない。

インボイス※は止めるべき
問 インボイス制度により、年間売上が数十万円程度であっても消費税の支払い義務が生じる。シルバー人材センターなど、多岐にわたる業種の経営が困難になる。インボイス制度はやめるべき。

市長 シルバー人材センターについては、全国的にもいろいろな意見が出されている。今後の国の対応を注視し、事業者の

知事の「核保有含めた議論」について市長の見解は
問 佐竹秋田県知事は、「核兵器保有も含め真剣な防衛政策のあり方の議論を始めてもらいたい」「日本人を平和ボケ状態にした憲法9条はいますぐにでも改正すべき」と述べた。この佐竹発言を市長はどう感じているか。

市長 今、世界で起きてくる核兵器への大きな脅威と不安を憂いているところである。非核平和都市を宣言しているにかほ市として、核のない平和な世界をこれからも強く望んでまいりたい。

議会活動報告

4/12	広報広聴委員会
5/6	議会調整会議
5/11	会派代表者会議
5/18	第3回臨時会
5/18	議会全員協議会
5/18	議会運営委員会
5/18	広報広聴委員会
5/18	議会改革推進会議
5/31	議員全員協議会
5/31	議会運営委員会
6/7～6/20	第4回定例会
6/7	正副議長・正副委員長会議
6/9	議員互助会・林活議員連盟 役員会
6/10	広報広聴委員会
6/14	議会運営委員会
6/20	議会運営委員会
6/20	議員互助会・林活議員連盟 総会
7/12	広報広聴委員会
7/13	日本海沿岸東北自動車道山形・秋田県境区 間建設促進期成同盟会 総会
7/14	各期成同盟会等合同整備促進大会
7/21	秋田市議会議長会第1回定例会

掲載した他にも、市内外の行事等へ出席しています。

9月定例会の予定

8月下旬～

- ・本会議（市政報告、議案説明ほか）
- ・本会議（一般質問）
- ・本会議（議案質疑、付託ほか）
- ・常任委員会（小委）審査
- ・本会議（委員長報告、討論、採決ほか）

※日程が決まり次第、議会HPでお知らせします。
※傍聴の際は、マスクの着用や手指消毒にご協力
ください。感染予防のため、傍聴者数を制限す
る場合があります。

議会事務局 TEL 43-7511



市民からのご意見

問 表紙の写真はどのように選んでいますか。

答 地域の行事や市民の活動など、議会だよりの発行時期に合わせ、広報広聴委員会で選考しています。



議会だより、市議会へのご意見、市民の声をお寄せください。

郵送 〒018-0192
にお手紙、FAX、メールで
にかほ市議会事務局 宛て
メール gikai@city.nikaho.lg.jp
FAX 0184-43-7513

広報広聴委員会

委員長	齋藤 進
副委員長	佐々木 正勝
委員	高橋 利枝 / 齋藤 光春 佐々木 孝二 / 佐々木 春男 森 鉄也 / 伊藤 竹文

編集後記

4月の改選後の委員会構成は6月1日（臨時号）議会だよりにて紹介のとおり、新たに8名による議会広報広聴委員会が発足しました。多くの市民の方に手にとっていただき、納得いただける議会だよりの紙面構成を追求してまいります。

議会だよりの発行については、その内容によって月遅れが生じる場合もございますが、内容や構成についてご意見や感想などがありましたら、お気軽にお寄せいただければ幸いに存じます。

さて、8月はお盆の月。今年はそのそれぞれのご家庭で、帰省された家族と3年ぶりの再会に団らんの花が咲くことでしょう。また、その喜びを先祖様にご報告のほどお忘れなく。結びに皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

議会広報広聴委員会
委員長 齋藤 進